

【生活】

1 採択教科用図書

- 啓林館

2 採択理由

(1) 啓林館は、各学年の目標、内容、学習指導要領の趣旨を踏まえて、次のような編集がなされている。

- 2年生の始めに「1年生をむかえよう」という単元が設定され、自分の既存の経験や思いを振り返りながら1年生の迎え方や関わり方に気付き、身近な人々に適切に関わることができるような工夫が見られる。
- 「わくわく」「いきいき」「ぐんぐん」の3段階で構成する単元の流れにより、児童の意欲を喚起し、直接体験を大切にしながら伝え合いを充実させる工夫が見られる。
- 図鑑編集者監修写真や問いかけの言葉(上巻)を掲載した「びっくりずかんLIVE」を設け、活動のヒントとなる「めくり言葉」を表記することで、主体的で継続した活動を促す工夫が見られる。
- 「びっくりずかんLIVE」というページに、地域や学校の実態に合わせた素材が多く掲載されており、「デジタルたんけんブック」には、写真や動画だけでなく、虫や鳥の鳴き声を聞くコンテンツもあり、地域を身近に感じることができる工夫が見られる。

(2) 啓林館は以下の点で、特に本地区の実態に合致していると言える。

- 使用する時期の生活と関連させ、野菜作りをはじめ、季節感を味わうことのできる題材が使用されている。デジタルコンテンツには、写真や動画だけでなく、虫や鳥の鳴き声を聞くコンテンツもあり、地域を身近に感じることができる工夫が見られる。
- 幼稚園と小学校の接続を意識したつくりとなっており、保護者との連携についての内容も充実している。

延岡市教育委員会においては、北部採択地区協議会での「研究資料」及び専門委員の報告に対する質疑・応答後の選定結果を参考に、教育委員による協議がなされ、啓林館の教科用図書が最適であるとして採択した。